

令和8年 4月19日執行 栃木市議会議員選挙選挙公報 (定数28)

栃木市選挙管理委員会

① 災害に強い町を作ります。
② 子どもやおとしより、障がいを持った方にやさしい町を作ります。
③ 子どもたちが安心して登下校できる道路を作ります。
④ 子どもたちにスポーツができる環境を作ります。
⑤ 公共工事の施工時期の平準化を図り、働きやすい環境を作ります。

見ます 市民の皆様が目線で物事を見ます。
聞きます 市民の皆様の声をよく聞きます。
届けます 市民の皆様の想いを市政に届けます。

【経歴】
○ 本籍地 栃木県栃木市皆川城内町2016番地
○ 学歴 東海大学工学部土木工学科卒業
□ 平成26年4月 栃木市議会議員(1期)
・平成28年6月 建設常任委員会委員長
□ 平成30年4月 栃木市議会議員(2期)
・令和2年6月 議会運営委員会委員長
・令和4年2月 予算特別委員会委員長
□ 令和4年4月 栃木市議会議員(3期)
・令和6年5月 議会運営委員会委員長
・令和7年2月 予算特別委員会委員長
・令和7年7月 副議長

自由民主党公認
おおや好一
昭和三十一年七月十七日生(六十九歳)

人も地域も取り残さない!
混んとした社会情勢下において、企業誘致にしのぎを削り、生き残りかけた激しい行政間競争が起っています。栃木市においても、その競争に負けるわけにはいかないのです。待ったありません。「いちむら隆」は、このテーマを最優先課題として捉え「稼げるまち」に変貌させてまいります。

「いちむらなく」取り組んでまいります。
○ 生き残りをかけ企業誘致に注力します。
○ 返金不要の奨学金を拡充するなど、制度を見直します。
○ 地域で医療格差が生じない命を守る医療体制を充実します。
○ 中小・零細企業や商店街活性化のための施策を行います。
○ 生活弱者が本当に求めている福祉サービスに切り替えます。

プロフィール
○ 学歴 栃木市(旧岩舟町)生まれ 旧岩舟町の小・中学校卒 栃木県立佐野高等学校 普通科卒 東海大学工学部 建築学科卒
○ 主な要職 元岩舟小学校中学校PTA会長 元下都賀郡地区小中高PTA連絡会会長 元岩舟町町長(岩舟町最後の町長) 栃木市議会議員(1期)

無所属
いちむら隆
昭和三十三年一月二十四日(68才)

未来につながる街づくり
5つの提言

- ・住民が主役です。多くの声を行政側に届けるパイプ役に徹します。
- ・子どもから高齢者まで、より良い社会・福祉の充実を目指します。
- ・「栃木市に生まれて良かった」と思えるよう、市民生活の向上を目指します。
- ・ぶどう・いちご・梨・など農産物を活かした農業振興や、工場誘致など産業振興を目指します。
- ・市内各地にある歴史や伝統を市内に発信し、市の魅力と知名度アップを図ります。

私は常に、小さな積み重ねが大きな事を成すものと考えております。住民の皆様の声を大切にし、よりよい地域づくりに励んでまいります。

無所属
青木一男
昭和三十一年十月十四日生(六十九歳)

私たちの明日へ「情熱・迅速・行動」
情熱・迅速・行動。そして公正をモットーに、市民の皆さまの立場にたつまちづくりを目指し、全力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願ひ致します。

「おおあく岩人」の六つの決意

- 一 子供を産み育てやすい栃木市へ
- 二 若者が地元で働ける「仕事のあるまち」づくり
- 三 防災・減災・命を守る備えは万全か
- 四 高齢者と介護を支える地域づくり
- 五 外国人労働者と共に暮らす栃木市
- 六 暮らしの基盤整備

無所属
おおあく岩人
昭和四十四年十一月二十八日生(七十六歳)

「変えていこう」まちづくりの提言
～未来社会をデザインする～

市議会議員として8年間、ずっと栃木のまちづくりを考えてきました。昔懐かしい田舎風景が失われ、空き地空き家が溜まり、みんなで楽しむ行事が少なくなるなど地域のカタチが大きく変わろうとしています。これからは、伝統を守りながらも新しい感覚や価値観のもと、令和の時代にふさわしい社会のカタチに作り変えていかねばなりません。

目標は10年後、20年後、どのような未来社会を想像していますか。AIやテクノロジーの進化で生活が便利になる一方、少子高齢化や人口減少をはじめ予測不可能な多くの課題が待ちかまえています。政治家の仕事は明るい未来を用意することだと思います。課題を解決し、多くの人を幸せにする。政治にはそんな力があると私は信じています。日々変わり続ける社会情勢のなか、栃木のまちづくりは待ったなしです。私自身36歳と未来を創る当事者として、これからも皆様と一緒に地域で汗をかきながら行動してまいります。そして、その声を議会に届け届けます。一緒に「変えていこう」ではありませんか。

未来社会をデザインする! 3つの挑戦

【行政・議会改革】 【医療・福祉】 【子育て】

- 1 「新しい行政・議会のカタチ」**
公共施設の再編や行政事業の見直しを推進し、行政の無駄ゼロを目指します。
新しい議会のカタチを目指して、議員定数や報酬の検討、積極的な議員提案等の改革を推進します。
- 2 「断らない救急医療 障がい児者の総合支援」**
とちぎメディカルセンターを中心とした24時間365日断らない救急医療の実現を目指します。
障がい児者の生活支援や親なき後対策に全力で取り組みます。
- 3 「子育てを楽しむ」**
私自身3児のママとして、子育てで環境の不安や不満に共感します。経済的支援をはじめ、安心して預けられる保育環境の充実や質の高い公立学校の整備を推進します。

プロフィール
平成元年8月28日生(36歳) O型
栃木市議会議員2期目、栃木市監査委員
行政書士

経歴
平成14年 岩舟小学校卒業
平成17年 岩舟中学校卒業
平成20年 國學院大学栃木高等専門学校卒業
平成24年 高崎経済大学地域政策学部卒業
平成30年 県議会議員秘書(～平成29年)
平成30年 栃木市議会議員1期目当選
令和4年 栃木市議会議員2期目当選
令和6年 栃木市監査委員

無所属
あさの貴之
平成元年8月28日36歳

誠実 熱心 行動力
こだち孝之の政策 未来に向けた3つのまちづくり

魅力 産業と観光の振興による魅力あるまちづくり
● 栃木市の立地条件を活かした産業振興の推進
● 観光拠点の整備による循環型交流人口拡大

優しい 福祉の充実と子育てに優しいまちづくり
● 高齢者や障がい者が安心して暮らせる福祉の拡充
● 子育てに寄り添った手厚い支援の拡大

次世代型 環境に配慮した次世代型のまちづくり
● カーボンニュートラルの推進による持続可能な社会の構築
● 子どもたちに負担を掛けない行政改革の推進

私の決意
私「こだち孝之」は、働く者を代表し市民の皆様の声が届ける身近な市議会議員として、市民生活に必要な安心と安全を常に考え、一期目の議員活動を行って参りました。これからも、「安心して暮らしていける、未来が元気になる」まちづくりに取り組んで参ります。

こだち孝之
安心、安全な栃木市へ
未来を元気にするまちづくりをめざしていきます

無所属
こだち孝之
昭和三十一年九月九日(六十一歳)

えがおつなぐしあわせ栃木!! いこそ! 僕らの未来!
価値ある栃木市を子供たちに残す。

教育・子育て ここで育てたくなる栃木市
・U、I、Jターン支援拡充。子育てへ充実した支援が届くまち
・地域とともにある学校づくりへさらなる支援が充実したまち
・子ども・若者目線でつくる居場所や遊び場が充実したまち

介護・福祉 いつまでも不安のない栃木市
・高齢者やご家族の暮らしを支える支援や制度が万全なまち
・ラストワンマイル交通により、移動の不便、格差が解消でき誰もが安全・安心で経済的に移動を楽しむことが出来るまち

環境 自然に寄り添う栃木市
・優良漁道水地の害獣(イノシシ)対策と有効な利活用
・害獣、空き家問題＝地域資源として活用されるまち
・耕作放棄地が再生され、若者が「農業に夢が持てる」まち

防災・防犯 安心して暮らせる栃木市
・生活環境インフラ施設の整備、防災施設・防犯体制の強化
・避難所の環境整備と若者防災士を育成、災害に強いまち
・見える防犯、デジタル防犯の強化で誰もが安心できるまち

石川えつし
昭和49年11月9日生(51歳)

市政の「主人公」は、市民の皆さまです。
変革・融和

私の決意
会社員時代に培った「課題解決型提案」を市政に活かして、魅力あるまちづくりに、そして安心・安全なまちに向けて取り組んでいきます。さらにその思いを市政に反映させて頂きたいと思っております。

プロフィール
学歴 吹上小、吹上中学校卒業 栃木県立佐野高等学校卒業 東海大学政治経済学部卒業
経歴 吹上中PTA 栃木女子校PTA 軟式野球連盟MAX所属

無所属
野尻まさひこ
昭和四十八年四月二十六日生(五十五歳)

「白バラ」のシンボルは

昭和62年4月生まれ38歳
明治学院大学 経済学部卒業
栃木市都賀町在住
妻と小学生の娘の3人家族
趣味: サッカー・キャンプ・ドライブ

産み育てたい・挑戦したい・体験したい 参政党

子育て教育支援 安心して産み育てられる環境、子供の未来を担う教育支援を目指します。
子育て世帯の負担軽減
出産から高校卒業まで切れ目のないサポートを実施し、限りなく子育ての負担ゼロへ
子供の個性を伸ばす教育の推進
「偏差値教育」だけに頼らず、「体験型学習」の推進

市政の情報発信 栃木市政の見える化をし、市民参加型政治の実現を目指します。
市政報告会の実施
情報開示
SNSを利用した定期的な情報発信の実施
交流会や勉強会の開催
地域の課題や課題の共有、勉強会を開催

農業支援の拡充 先人の築いてきた知識や経験を継ぎ、新しい農業の形を創造します。
攻めの農業支援
安定した収入の実現
栃木の農産物ブランド化推進
攻めの就業、承継支援
移住・事業承継・新規就業希望者への支援を拡充

新しい価値の創造 栃木市から日本の新しい価値を創造し、国からの補助金に頼らない政治を目指します。
若者が挑戦できる町創り
栃木市からチャレンジする! そんな熱意のある若者が増える制度作り
栃木市の宝を磨き直す
栃木市の誇る伝統文化をさらに磨き上げ、観光客を誘致

参政党
宮本陽介
昭和62年4月30日生まれ 38歳

投票日 4月19日(日)

栃木市長及び栃木市議会議員選挙

投票時間

午前7時～午後7時

栃木第26投票所(出流町公民館)は、午後6時まで
 西方第5投票所(真上集落センター)は、午後4時まで

蔵の街とちぎ♡めいすいくん
 くらっぴー



投票できる人

年齢 平成20年4月20日までに出生した人
 住所 令和8年1月11日栃木市に住民登録し、引き続き3ヶ月以上住民登録している人が対象となります。なお、投票日の前日までに転出した人は、投票できません。ただし、転出(予定)日までは期日前投票ができます。
 ※令和8年1月12日以降に転入された人は、投票できません。

期日前投票

どちらの期日前投票所でも投票ができます。

期日前投票所	受付日時	
きららの杜とちぎ蔵の街楽習館(市民交流センター)	4月13日(月) ～ 4月18日(土)	午前8時30分 ～ 午後8時
大平総合支所		
藤岡総合支所		
都賀総合支所		
西方総合支所		
岩舟総合支所		
イオン栃木店(宝くじ売り場 北側駐車場内)	午前9時～午後7時	
大宮・皆川・吹上・寺尾・国府の公民館	4月13日(月)～4月17日(金)(平日のみ)	午前8時30分～午後5時

※最終日は最も混雑する傾向にあります。できるだけ混雑を避けてご利用ください。
 ※投票所入場券が届いている場合には、入場券裏面の「期日前投票宣誓書兼請求書」にあらかじめご記入のうえ、お越しください。

投票のしかた

最初に市長選挙の投票用紙(水色)を渡します。候補者の氏名を1名書いて投票してください。

↓

次に市議会議員選挙の投票用紙(白色)を渡します。候補者の氏名を1名書いて投票してください。

投票所入場券は

各世帯あてに郵送します。1枚に2名分が記載されたハガキになっていますので、開いてご確認ください。

もし、紛失した場合や届かなかった場合でも、選挙人名簿に記載されていれば、投票できますので、投票所の係員にお申し出ください。

選挙公報は

市内一斉に新聞(朝刊)折込みで配布します。市役所・各総合支所・各公民館などにも備えていますので、ご利用ください。また、市のホームページからもご覧いただけます。

インターネット等による選挙運動

選挙運動期間における候補者に関する情報の充実のため、インターネット等を利用する方法による選挙運動ができます。詳しくは市のホームページをご覧ください。

候補者のポスターに手をふれないように

市内各所の公営ポスター掲示板に貼られたポスターをいたずらして破ったり、汚したりすると処罰されます。また、破れたポスターや、こわれた掲示板を見つけたときには、市選挙管理委員会までお知らせください。

投票支援カードについて

投票所で、代理投票などのお手伝い(支援)が必要な人は、「投票支援カード」を投票所の係員に渡すことで、スムーズに投票できます。

市のホームページから「投票支援カード」の用紙をダウンロードし、あらかじめご記入のうえ、投票所へお持ちください。また、投票所にも用紙を備えていますので、その場でのご記入も可能です。

代理投票・点字投票

障がいや病気、けがなどで、自分で投票用紙に書くことがむずかしい場合は、投票所の係員が代筆します。投票の秘密は、固く守られますので、安心してお申し出ください。

また、目の不自由な人は、点字投票をすることもできます。

通所型介護事業所による移動支援

デイサービスなどを利用して、いる人は、期日前投票所へ送迎する移動支援を利用できる場合があります。ご利用の事業所にご相談ください。



障がいがある人への移動支援

障がいにより、自宅から期日前投票所までの移動(外出)が困難な人は、移動支援サービスを利用できる場合があります。事前の申請と支給決定が必要



栃木市明るい選挙推進協議会会長賞
 (大平中央小学校 6年 柏倉 市佳さん)



栃木市選挙管理委員会委員長賞
 (吹上小学校 3年 長谷川 由珠さん)



栃木県明るい選挙啓発ポスター優秀賞
 (岩舟小学校 6年 籠谷 隼葵さん)

令和7年度 明るい選挙啓発ポスター受賞作品

となりますので、障がい福祉課(☎21-2205)またはご利用の相談支援事業所にご相談ください。

開票は

投票日当日に、次の場所(開票所)で行います。

・マルワ・アリーナとちぎ
 (栃木市総合運動公園総合体育館)
 栃木市川原田町760番地
 午後8時10分)

問合せ

栃木市選挙管理委員会
 ☎(21) 2531

※学校名、学年は受賞時点のものです